

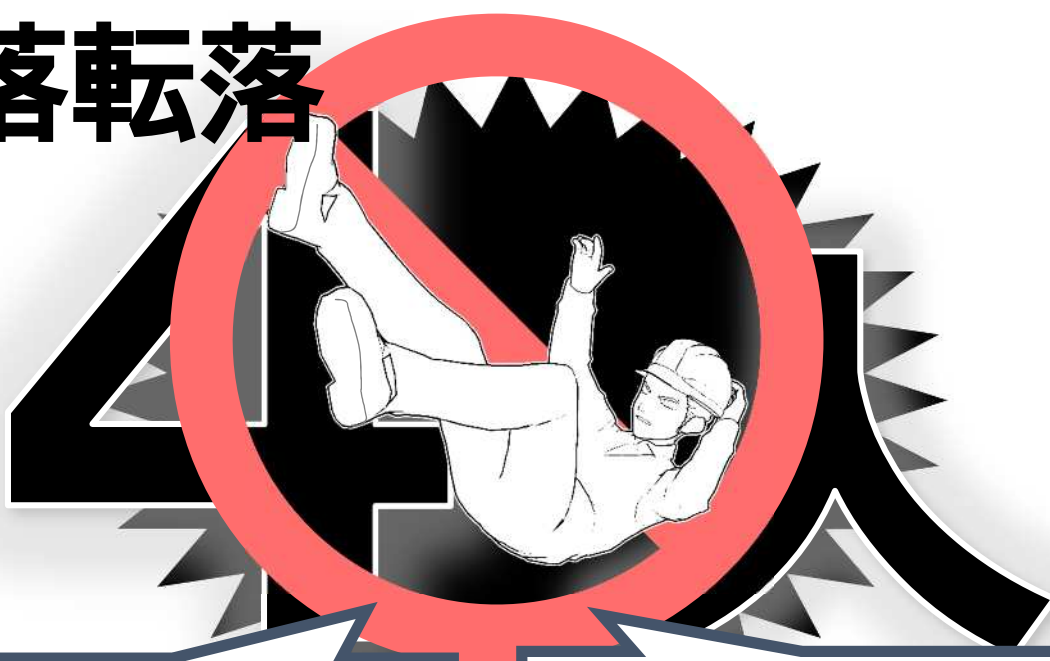
令和3年(2021年) 但馬労働基準監督署版

STOP!墜落・転落災害根絶キャンペーン

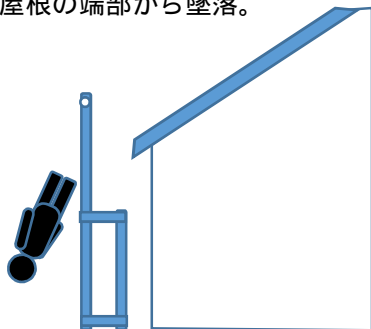
但馬労働基準監督署管内において、第13次労働災害防止期間(2018～2022年の5か年)の現時点3年間で8人の労働者が亡くなっております。とりわけ、墜落転落で4人と多くの労働者が亡くなっています。

令和3年(2021年)における死亡労働災害を防止するため、高所作業での適切な安全対策など、集中的な安全対策に取り組みましょう。

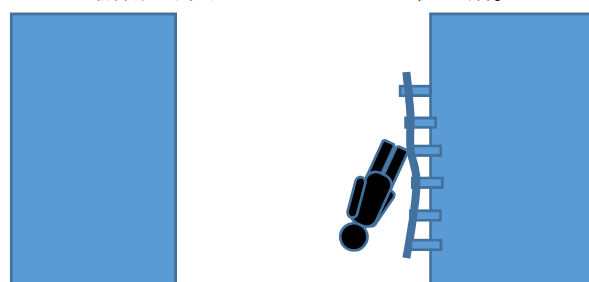
墜落転落



屋根の取替で、屋根の端部から墜落。



立坑内に機械を降ろす作業中、タラップを降りながら機械を介助していたところ、墜落。



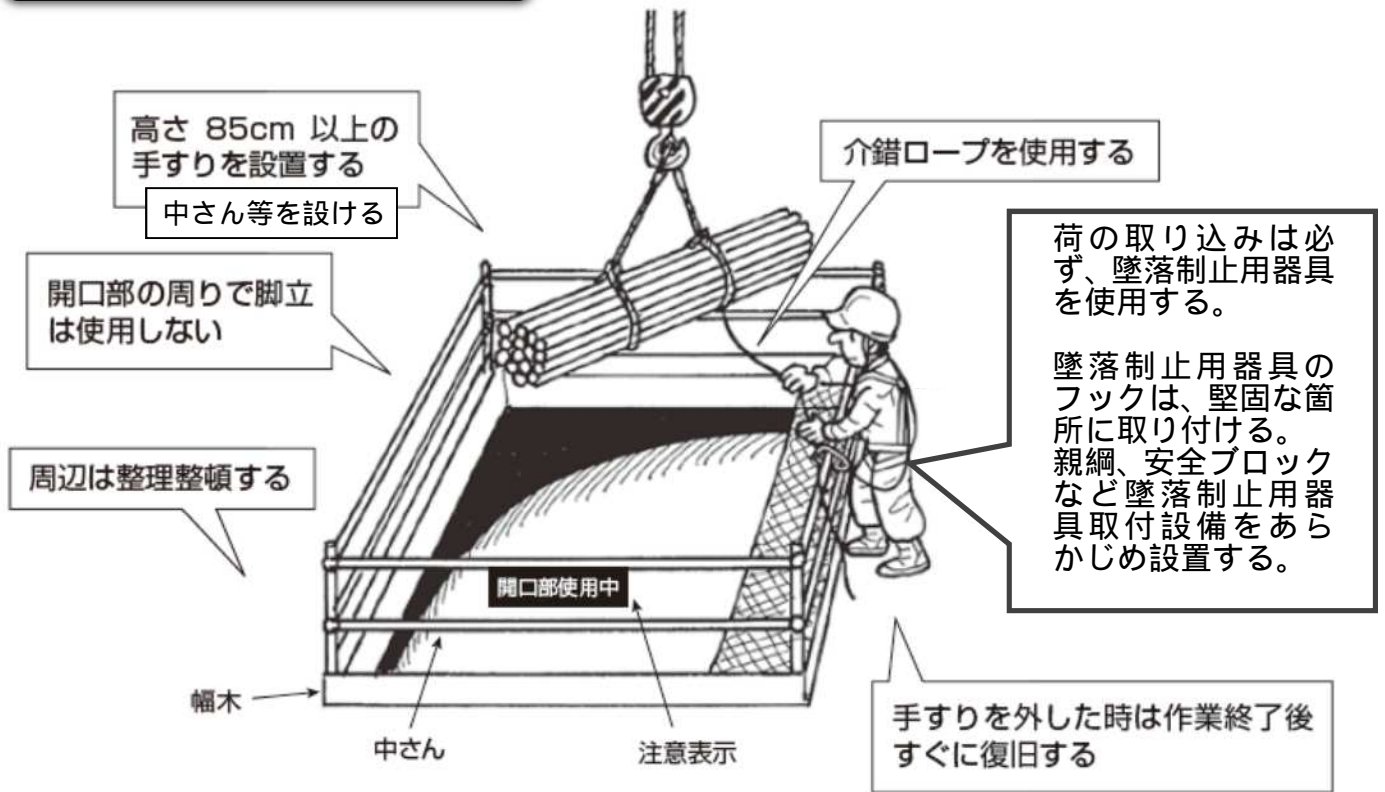
安全対策の手間を惜しまず、高所での墜落防止措置を徹底しましょう。

「手すり中さんの設置」「作業床の設置」「親綱・安全ブロックの設置」「墜落制止用器具の使用」などを、事業者・作業員全員が安全意識を共有する必要があります。

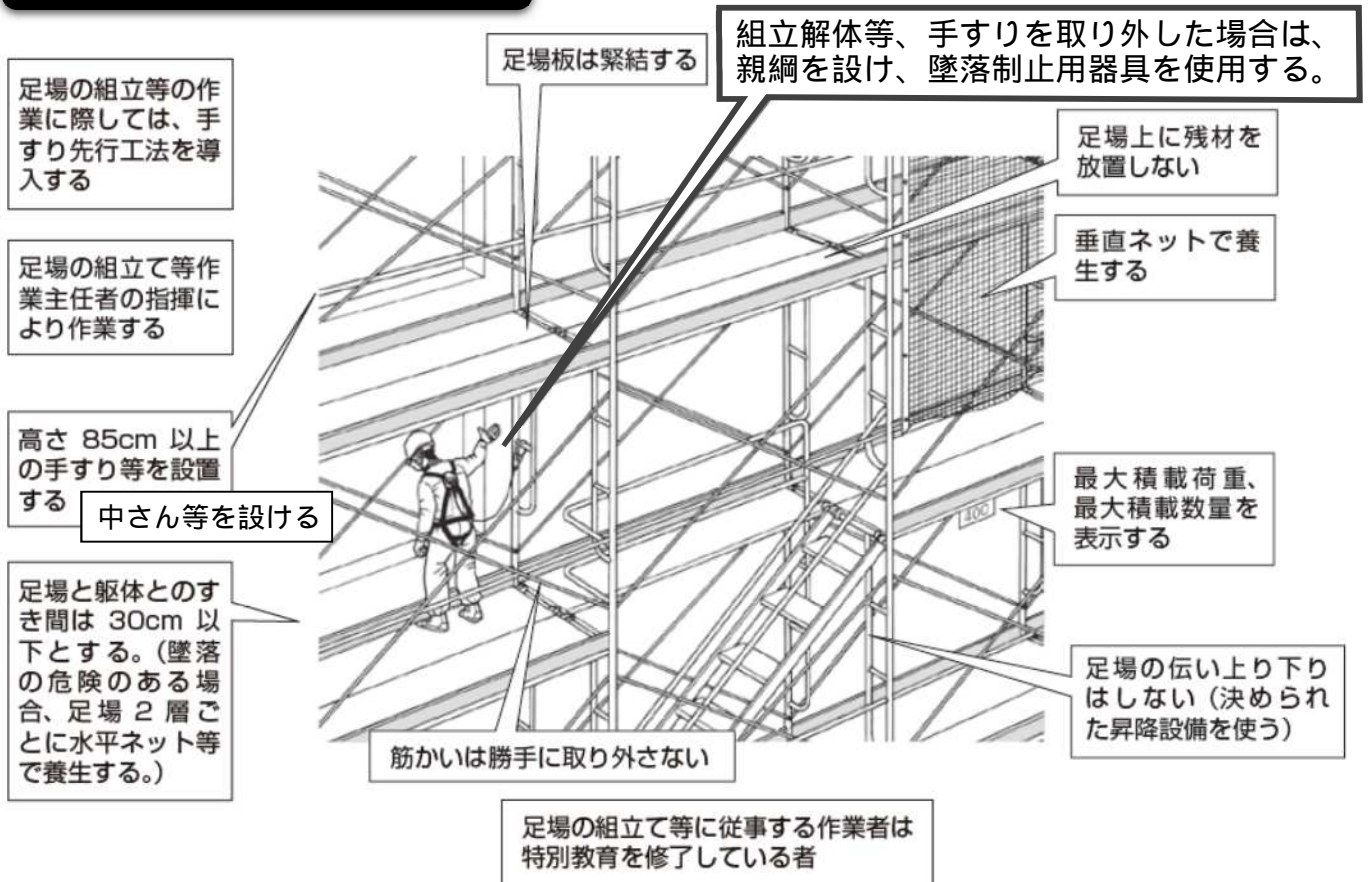


但馬労働基準監督署

開口部付近での作業



足場上での作業



厚生労働省委託 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係る建設需要に対応した労働災害防止対策事業 「管理監督者等に対する安全衛生教テキスト」からの抜粋、一部加筆

「職場のあんぜんサイト」(災害事例、教育の教材資料を掲載しています)

<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/>

あんぜんサイト

検索

